

【株式会社ジェイネット】

ダイナミックツールモニターの遠隔操作化 (IoT) および超小型化

開発のねらい

- 1 無人化・省力化に対応させるために製品のネット経由での稼働を可能にする。
- 2 測定器本体の小型化

開発の概要

LAN経由にて外部から測定器および加工機械の標準的な操作を可能にする。

現在、使用されている光学系のレンズをゼロベースで新規に開発し、非球面レンズを多用することで、現在の精度や分解能を保ったまま光学系の光路を発光側・受光側共に短くする。

特長

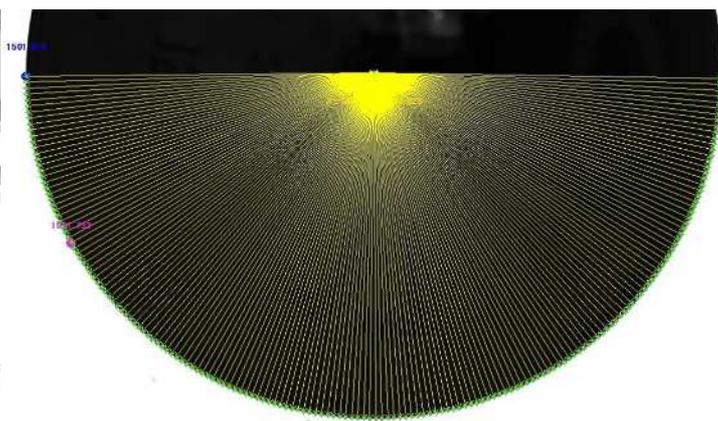
全長200mm未満の測定ヘッドを有し、加工機械のテーブル上に設置して工具長・工具径をサブミクロンの分解能で測定し加工機械にフィードバックさせることで自動補正を掛けさせ、完全自動運転を可能とさせる。またトラブル発生時にはメールで知らせるとともに、ネットに繋がれた別のPCから測定器を操作することが可能で現場に赴かなくても、その場で対応が可能である。

用途

加工機械に取り付け、工具長・工具径を測定し、完全自動運転を行うための自動測定と自動補正を行う。これにより全自動運転でも精度を出す加工が可能となる。



(上) が従来品、(下) が本開発品



ボールエンドミルの3次元形状を測定

お問い合わせ先

【所在地】 〒343-0002 埼玉県越谷市平方2083-1

【連絡先】 TEL 048-973-1030 FAX 048-973-1033 技術部 田島

<http://www.jng.co.jp/>

